

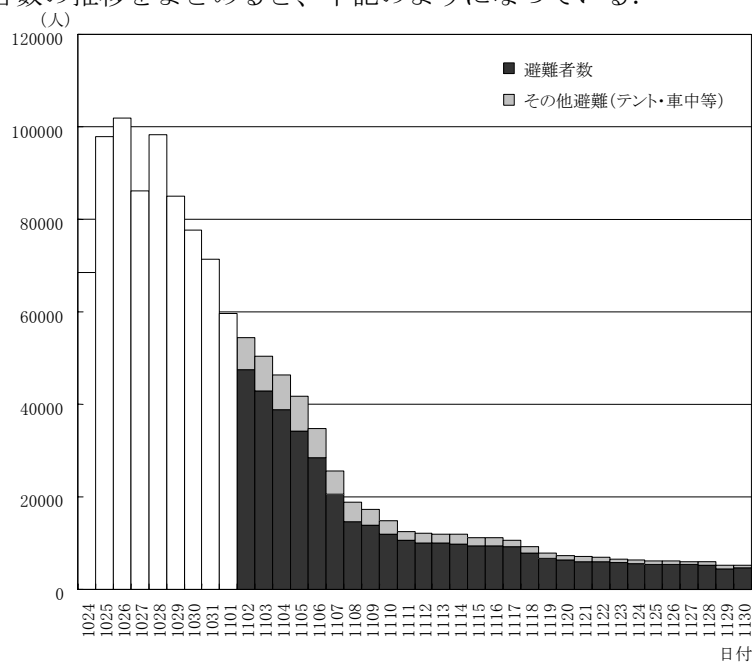
新潟県災害対策本部 訪問

調査日 : 平成 16 年 11 月 7 日 (日) 13:00-15:00
 班 : 避難マネジメント・経済調査班 (片田、多々納、渥美、庄司、金井), 面的被害・地域計画班 (中出)
 分類別 : 被災状況、復旧・復興状況
 キーワード別 : 避難所、生活再建、その他

調査結果

ヒアリングの主な内容は下記のとおり。

- ・ 地震発生が夕方であったにもかかわらず、当日中には本省などから担当者が応援に駆けつけた。
- ・ 7月の豪雨災害の経験があったため、自治体や本省の関係部署との連絡・連携はある程度スムーズに行えた。
- ・ 同じく、ボランティアの受け入れや、救援物資など震災直後こそ足りない状況にあったものの、数日後には十分な量が確保でき、ヒヤリングを行った時期には、余っている場所もあったらしい。(物資の種類によっては余っていたということであって、すべてにおいて十分であったわけではないようだ)
- ・ 旅館などを貸し切って、被災者の緊急避難場所として提供するシステムは震災後3～4日で実施し始めたが、あまり利用者はいなかった(その理由としては、自分だけ良い思いはできないということと、自宅が見える場所に居たいといったところだろう)
- ・ 震災前に土砂災害危険地図は作製していたらしいが、山古志村で発生した自然ダムのようなものまでは、想定していなかった。
- ・ 県内の避難者数の推移をまとめると、下記のようにになっている。



	避難者数	その他避難 (テント・車中 等)	避難者数計
1024			68368
1025			97798
1026			101958
1027			86182
1028		発表無し	98345
1029			85067
1030			77662
1031			71407
1101			59668
1102	47574	6853	54427
1103	42851	7500	50351
1104	38941	7429	46370
1105	34229	7451	41680
1106	28545	6205	34750
1107	20649	4861	25510
1108	14663	4256	18919
1109	13881	3520	17401
1110	11875	2998	14873
1111	10550	2001	12551
1112	10029	2118	12147
1113	9963	2010	11973
1114	9880	1953	11833
1115	9377	1811	11188
1116	9332	1739	11071
1117	9164	1499	10663
1118	7946	1364	9310
1119	6810	1093	7903
1120	6255	1058	7313
1121	6046	1054	7100
1122	5910	939	6849
1123	5803	767	6570
1124	5668	698	6366
1125	5462	695	6157
1126	5377	686	6063
1127	5327	677	6004
1128	5215	669	5884
1129	4493	663	5156
1130	4589	651	5240

(人)

平成16年新潟県中越地震災害対策本部対策班
発表資料より作成